歴史深い町です。 渡す自然あふれる緑豊かな町、 雄大な養老山脈を見わが町養老町は、 そして

指して、町民の皆様と共に作って行きう子供たちに夢や希望を持てる町を目 で広大な田畑を守りながら、町屋農業に携わっているので、この農業に携わっているので、この たいと思います。 一人一人が誇れる町、 また、 次代を担 町民皆様 この豊か

と、人口減少にしが存在する。

様に新型コロナ禍である。

しかし、

歴史の中では幾度と無く大きな困難

高齢化が進む中で、

追い

てきた。 ントで、

を乗り越えて、



小寺

岩永

義仁

改 元 7 町の存在の大きさに気が付 公募委員を5年間勤めて、 7年から1 プロジェクト事業の 養老改元 00年後のイベ 改めて養老 養老

人口減少に歯止めが掛からず少子 時代の変遷により多くの苦難 その間養老は脈々と生き続け 現在に目を向けて見る 現在の私達の日々の暮 打ちを掛ける 長 境づくりをすることです。む人が「ずっと幸せに生活できる」 も、いつの時代も同じです。そこに住くりの本質は国でも県でも町において (持続可能な開発目標) く同じ事が提唱されています。 が議論され、 した。現在でも国連においてSDG 日本が迎えている人口減少社会とは 多く の論文が発表されま 続可能なまちづく 私の学生時代 います。まちづとしてまった

昨日より今日、 とで幸せな生活を守ることが可能です。 情勢でも、 なっていく社会です。 一緒に養老の未来をつくりましょう。 住民一人一人に目を向けるこ 今日より明日が寂しく こうじ 長澤 った社会 龍夫



今回のコロナ禍を

北 倉

義博

んでいきたい。 ろん重要ですが、闷向にあることです。 高めていきたい。 寄り》だけでなく 誘致を積極的に推し進め意欲と満足感活の場を町外に求めることなく、企業 とで安心して子育てができる環境づく を持って働ける職場を増やしていくこ こと、結婚しても職場や子育てなど生 者や子ども達が生き生きと生活できる に加えていくことで町民全体の意識を 若年層が占さ 教育や福祉の充実に取り組 める割合がますます減少傾 いることは町人口の また町民憲章に 将来を担って 《こどもが》を新た 高齢者福祉はもち 私が一番憂慮して 《お年 く 若



議員として

行幸され、 時の天皇が二度も 水・空気が美味. 元号を改

養老町財政を思うと、できました。その事をめて人の命・体が最優

その事を踏まえ

医療や介護の分を踏まえ、今後の

体が最優先であると認識目の当たりにし、改

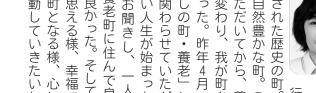
清水由美子

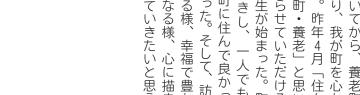
30 A

議員として未来に続く努力を続けた

に尊敬と感謝の心を持って養老町の一を乗り越えてきた。今一度先人の知恵

なった。昨年4月「住んでよし、来てが変わり、我が町を心から愛する様にいただいてから、養老町に対する思いく自然豊かな町。この事に気づかせて て良かった。そして、訪れて良かっこ。「養老町に住んで良かった。子育てしてまかった。子育てしをま聞きし、一人でも多くの方が、 行動していきたいと思う。 老町となる様、 と思える様、 に関わらせていただける事になり、 よしの町・養老」と思いを掲げ、 しい人生が始まった。町民の皆様の声 幸福で豊か、発展する養そして、訪れて良かった。」 心に描き、 知恵を絞り 町政 新





脱却を目指すべきと考えます。

拡充し、早急に消滅可能性都市からの対応できる準備として財政調整基金を

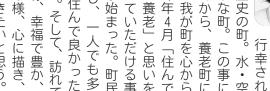
策

に活用し、

次の時代を担う若者が

いかなる危機に

安心して生活でき、



立って身を切る改革を打ち出すべきと整が求められます。私は議会が先頭に

考え「議員定数削減」を提案していま

その予算を「少子化対策・雇用対

せん。当然ながらそれ以外の分野で調野での歳出が増大する事は避けられま

早崎百合子

域風土を大切にしながら未来に繋がる を生きるための養老の地の課題、未来いにしえに輝いた に躍動する養老の地の輝きが。 この地が育んできた歴史に根差した地 希望の糸」を紡ぐ役割を担って 養老改元1 - Cと養老町が未来に飛躍す 300年祭、養老—C、 議員は いる。 養老

コロナ禍に伴い町財政は厳しい状況にるための画期的な出来事が続いている。 様の声を町政に反映することをモッ なることが予測される今、 と連携する中で私は、 とし議員活動を続けていきたいと思う。 女性の視点で皆 議会も町勢行部

思考を導入する為

行政や議会でも若

今後は次世代を担う若者を中心とした

い町の糸口になるのではとの思いい世代が担う事が少なくとも、ょ

いです。

現状で有る。地法や軟弱地盤等が妨げとなって 企業誘致等試行錯誤されているが、

いる 農

スマ

要であると、

常日頃思っています。

の連帯がなにより大切だと思う。までも、これからも、コミュニティ災害」などなど、大変な時こそ、こ

)でも、これからも、コミュニティー(害」などなど、大変な時こそ、これ「新型コロナウイルス感染症」「自然

を得ず先行きの暗い現状である。ているが、消防団の編成も縮小せざる ているが、消防団の編成も縮小せざるそれに加え作今の異常気象にも危惧し

行政に於いても町離れを防ぐ対策や

空き家や環境管理対策、

また税や公共

少子高齢化.

に向けて

今後の町の動向は、

大 橋

三男

3

料金の減収に伴う対策等山積している。



口減少、

少子高齢化 全国的に人

養老町として

近年、

吉田

太郎

永

れや、おすそわけしてあげたくなったが幸せな町でありますように。差し入はないということ。老若男女、誰でも自分は幸せだけれども、誰かが幸せで 描いても、考えても、悩できることから育てていい関係のある町。今あ 持てる絆を大切にする養老】の原点は、『大成功』しかない。 【誇りと愛着がまず行動するその結果は『成功』か そこにあるのでは。 のではなく 声を掛けたくなったり、 おたがいさまのちょうど あってはい 偏見と差別は絶対 今ある物や思いを、 悩んでい いくこと。 干渉する けな いても、 思い

ながら、公助を願い、住民が安心・うな色々な問題や対策を行政と共助題の一つであると考えている。この

ょ

ある。そのため、経済対策も重要な課も思うように進んでいないのが現状で

- C 開通に伴う企業誘致、

雇用問題

に推進していきたハミをかって へをで住みやすい町になるように積極的 住民が安心・安

進んで

いない

も対策を考慮して など数々の問題があり、

思うように

養老一Cとスマ



田中 敏弘

水谷久美子

住民全体の福祉向上と地域社会の活力 歩踏み出して常に住民の中に飛び込みだけの役割に終始するだけでなく、一 ある発展を目指して努力することが重 りながら議論を-対話を重ね、 住民の悩み、 住民の声を代弁する議員は、ただ単に 、調査研究を進め、悩み、声を汲み取

今を生きる養老町の歴史上の人物は、築かれていくものだと思う。だから、は、その時代に生きている町民により

その時代に生きている町民により巡っても、町の営みどんなに季節が

町民一人一人であり

町民が主人公で

指し頑張ります。 た、開かれた議会を求め、一流のE す。この自然を大切にして養老ら.養老町は自然豊かな住みやすい。 開かれた議会、行動する議会をめ、一流の田舎町を求めます。 行動する議会を目 い町で しさ



松永 民夫

ムの設立に努力して動をし、障害者の作業私は、『福祉』をテ-所存です。コロナ禍ではありますがよ域の中での福祉の向上に精進してゆく 高齢者福祉にも積極的に取り組み、地障害者福祉と共に高齢化が進む中でのムの設立に努力してきました。今後も 話を重ね意見や要望を聞いて政策に反は、住民の方々と対議員の職務の基本 域社会の発展を目指す義務があります。 審議をし、 監査権があり、 映させることです。議会には調査権や 多くの皆様のご意見を反映で 障害者の作業所やグル 住民全体の福祉の向上と地 委員会等で調査研究や ーマとして議員活 きる



ぜひ傍聴にお越しください。

合わせ下さい。)

(詳しい日程は「広報ようろう」12月号と町ホーム ページでお知らせします。また、新型コロナ ウイルス感染症対策の徹底をお願いします。 一般質問の日は車いすの方も傍聴していただけ ます。ご不明な点は、議会事務局までお問い

2020.11.1 ようろう議会だより No.150

2020.11.1 ようろう議会だより No.150 **1**4

S

15

150号特集